

家庭学習の手引き

1. 家庭学習(宿題と自分学習)について

小学校の学習は、将来児童が社会人として自立するための基礎となる大切なものです。

東小学校では、基礎的・基本的な学習内容の定着を目指して、「学校改善プラン」を基に、日々の教育活動を進めています。特に、家庭学習を通して家庭と連携を図り、家庭を「学びの場」とすることでその教育効果がより高まるのではないかと考えています。

次の家庭学習の手引きについて目を通していただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2. 家庭学習を通して育てたい児童の姿

- 生活時間を有効に使うことができる児童
(勉強や読書、手伝いに使う時間が、テレビやゲームに費やす時間より多い子)
- 家庭学習の習慣や方法を身につけた児童
- 基礎的・基本的な学習内容を身につけた児童

3. 基礎的・基本的な学習内容とは

学校で学習する内容(教科書に記載されている内容)です。

特に、次のことは、各学年間でつながりをもっていますから、それぞれの学年で確実に身につけておくことが望ましいと言えます。

- 教科書に出ているような文章をすらすら読むこと
- 教科書に出てくる漢字を読んだり書いたりすること
- 教科書に出ているような算数の問題を解くこと

4. 家庭学習の習慣づけのために

(1) 習慣化のためのポイント

- ①学習する時間を決めて、毎日同じ時間に。
- ②テレビを消して静かな環境で、集中力アップ。
- ③中学年以上の子どもは、「答え合わせ(まるつけ)」をする。

【答え合わせに関して】

- ・宿題は…自分で答え合わせをします。(例：翌朝登校後に、答え合わせをして提出する)
- ・自分学習は…答え合わせが必要なものは、家庭で行います。

◇子ども達が自分で「答え合わせ」をする意味とは…

答え合わせは、「正解・不正解」を確かめるだけの活動ととらえがちです。

しかし、実際は、学習内容の理解に関わる大事な活動と言えます。

「不正解」だった問題については、

「どこが間違っているのか」「どうして間違ってしまったのか」を丁寧に探る。



『自分の理解度』を把握する。



『弱いところを補強（再度考えることや練習をすること）』をする。



『確かな定着』へ。

答え合わせのこの流れを理解し身につけることができれば、「間違い」はただの不正解に終わらず、学習内容の確かな定着につながると言えるでしょう。

◇家での声かけを大切に…

- ・子どもが学習していることに興味をもち、ほめて励ましてあげてください。
- ・子どもがたずねてきたら、できる範囲で構いませんので、こたえてあげてください。
- ・子どもががんばった成果（ノートやプリントなど）に目を通して、努力を認めてあげてください。

※ご家庭でも、お子さんの得意・不得意を把握して、サポートしましょう。

(2) 学年別の望ましい家庭学習の在り方

低学年	中学年	高学年
<ul style="list-style-type: none">・学校の宿題ができる。・宿題以外にも、少しずつ自主的な学習ができる。・少しずつ自分で答え合わせができる。	<ul style="list-style-type: none">・学校の宿題が確実にできる。・宿題以外にも、自主的な学習に取り組むことができる。・自分で答え合わせができる。	<ul style="list-style-type: none">・学校の宿題が確実にできる。・自分の得意・不得意を押さえて、計画的に家庭学習に取り組むことができる。・自分で答え合わせができる。

(3) 家庭学習の時間のめやす

学年×10分（+10分を目指して）

例) 2年 ⇒ 2学年×10分 ⇒ 20分 がんばったら 20分+10分 ⇒ 30分

5年 ⇒ 5学年×10分 ⇒ 50分 // 50分+10分 ⇒ 60分

- ・あくまでも、めやすととらえてください。興味・関心のある内容ややりがいのある問題に取り組んでいる場合は、それ以上になるでしょう。
- ・本校でいう「家庭学習」とは、「宿題」と「自分学習」のことです。

(4) 自分学習の内容（一例です）

国 語	算 数	社会・理科・総合・生活
<ul style="list-style-type: none"> ・漢字練習 ・視写 ・言葉の意味調べ ・日記 ・音読（教科書をよく読む） ・テストの問題をもう一度解く など 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書やドリルの問題 ・計算練習 ・百マス計算 ・生活の中から問題を見つける ・テストの問題をもう一度解く など 	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強したことに関係のあることを資料などで調べる ・授業で学習したことをもう一度ノートにまとめる ・テストの問題をもう一度解く など

◇他にも…

- ・新聞や読み物の感想をまとめてみましょう。
- ・国語辞典や漢字辞典、図鑑や地図などを身近に置いて、調べてみましょう。
- ・自然や生き物とふれあい、観察してみましょう。
- ・詩や歌の暗唱をしてみましょう。（百人一首などを暗唱するのもいいですね）
- ・タブレットを活用してみましょう。（AIドリル、eboard、スクールタクトなど）

◇読書のすすめ◇

～日常の生活の中に、本と親しむ時間を取り入れることが大切です～

言うまでもなく、教科書をはじめテキストは、言葉で書かれています。

また、教師と子ども、子ども同士も言葉で互いの考えを伝え合います。学習の土台の一つは、言葉を理解し、言葉で表現する力です。その意味で読書に親しむことは、とても大切です。読書は、学習を支える漢方薬です。